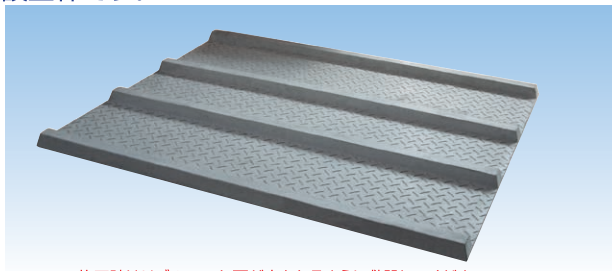


JSフォーム

NETIS掲載期間終了技術(QS-980217-VE)
農業農村整備民間技術情報データベース
(NNTD)登録No.1214

KCフォームの特徴を生かしながら、鉄筋入りのリブ構造により、大型側溝への適用を可能にしたGRC製埋設型枠です。



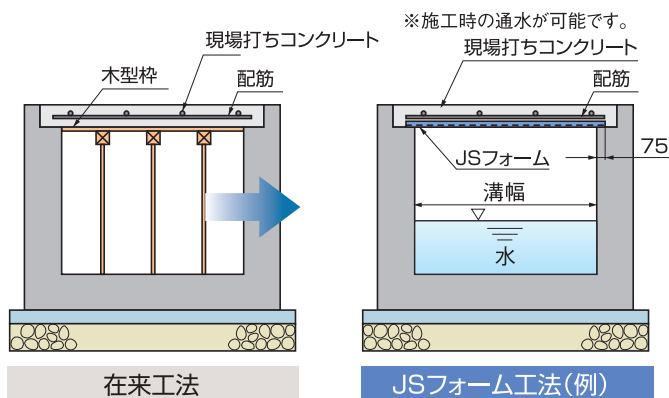
※施工時はリブのついた面が上となるように敷設してください。
製品に直接乗らないでください。

建設物価掲載製品

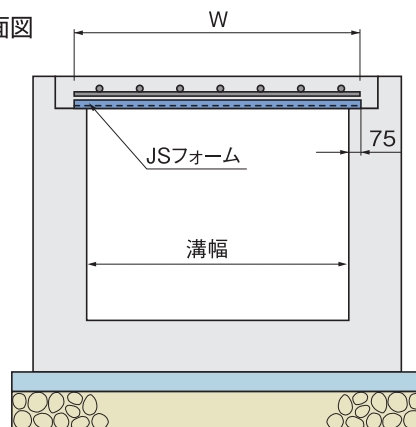
特長

- 1.現場施工を合理化
ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。
- 2.構造躯体の耐久性向上
鉄筋防蝕効果。
- 3.コンパネ不使用による森林資源保護
- 4.腐食による捨型枠脱落問題の解消
- 5.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

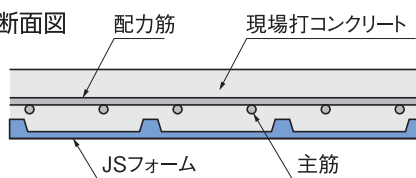
JSフォームを置くだけで施工可能



■打設断面図



■L方向打設断面図



◎リブ部を上向きにして施工します。

■施工手順

①施工前



②JSフォーム設置



③配筋



④コンクリート打設



⑤仕上げ



⑥施工後

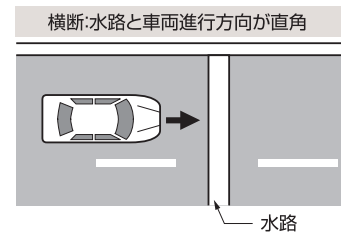
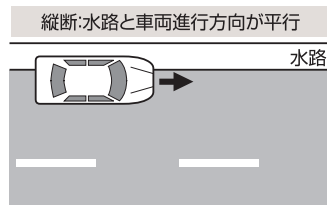
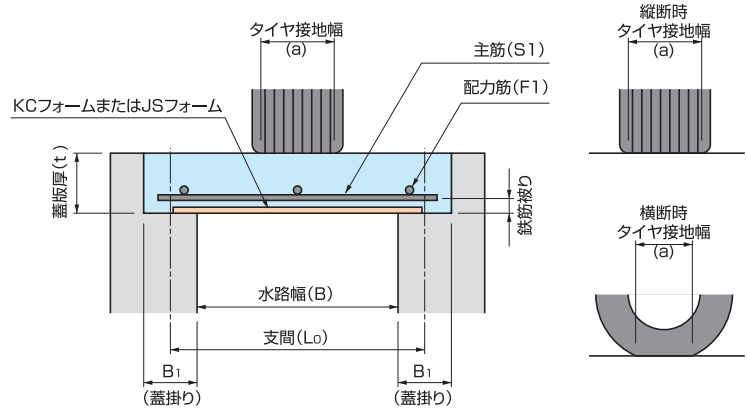


KCフォーム・JSフォーム使用時の鉄筋算出の検討

1.設計条件

活荷重(縦・横)	$T=25 \cdot 20 \cdot 14 \cdot 6$
土被り	$h=0.0\text{m}$
土の単位体積重量	$\gamma_s=18\text{kN/m}^3$
鉄筋コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.5\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
コンクリートの許容曲げ圧縮強度	$\sigma_{ca}=8\text{N/mm}^2$
鉄筋の許容引張強度	$\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

2.設置条件



計算上使用する数値表

項 目	縦断の場合				横断の場合				支 間 $L_0(\text{mm})$
	T-25	T-20	T-14	T-6	T-25	T-20	T-14	T-6	
	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	
水路幅(B)									
200～ 600	500	500	500	240	200	200	200	200	$B + 70$
700～ 900	500	500	500	240	200	200	200	200	$B + 80$
1000～1500	500	500	500	240	200	200	200	200	$B + 100$

項 目	縦・横断の場合				蓋掛り $B_1(\text{mm})$	鉄筋被り (mm)
	T-25	T-20	T-14	T-6		
	Q(t)	Q(t)	Q(t)	Q(t)		
水路幅(B)						
200～ 600	10.0	8.0	5.6	2.4	70	※KCフォームは配筋表を参照 JSフォームの場合は50mm
700～ 900	10.0	8.0	5.6	2.4	80	JSフォームがA・B型の場合は50mm 主筋(S1)径D19の場合は55mm
1000～1500	10.0	8.0	5.6	2.4	100	JSフォームがC型の場合は55mm C型で主筋(S1)径D19の場合は60mm

衝撃係数 $i = \frac{20}{(50+L_0)}$ 有効長さ $b=100\text{cm}$ ※上記以外の条件の場合は別途構造計算を致します。

配筋表の表記例

$As=5.49$ S1 D13-@125 F1 D13-3本

As:主筋の必要鉄筋量(cm^2)
※蓋長さ1m当り

S1:主筋(D13を125mmピッチで配置)

F1:配力筋(D13を3本配置)

